



☆JAPAN WEEK（第3回スラバヤ日本祭り）協力募集のお知らせ

2017年2月9日—19日まで、スラバヤ市内の複数の会場にて JAPAN WEEK（第3回スラバヤ日本祭り）を開催する予定です。現在、2月11—12日又は2月18—19日の週末にボランティアでステージにおいて特技（日本の武道、剣玉など伝統的なものから伝統的なパフォーマンスまで。）を披露してくださる方やワークショップ等を通じて日本文化を紹介してくださる方を募集しております。個人・グループ問いませんので、ご関心がおありの方は、当館諸平副領事（kaori.morohira@mofa.go.jp）までご連絡ください。

☆平成28年度第3回日系企業リーガル・コンサルテーション窓口の実施

第3回日系企業リーガル・コンサルテーション窓口を以下のとおり開催します。相談をご希望される方は、当館日系企業相談窓口（平瀬副領事、business-support@sb.mofa.go.jp）までご連絡下さい。

今年最後の開催となりますので、是非ご参加下さい。（次回開催は来年3月の予定です。）

日 時：平成28年12月14日（水）11：30～15：30（各社1時間程度）

場 所：在スラバヤ総領事館（2階講堂）

担 当：池田 孝宏 弁護士（アンダーソン・毛利・友常法律事務所）

☆「東ジャワ州トゥルンガレック県におけるイスラム小学校の校舎建設計画」供与式典

11月18日（金）、トゥルンガレック県において平成27年度に日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援したサラムレジョ・ムハマディヤ・イスラム小学校の校舎建設計画の供与式典が行われました。本件は、本県での教育環境向上を目的として、1969年に建てられ老朽化した校舎を取り壊し、新たに1棟6教室、トイレ棟4基を建設するとともに学校の備品整備を実施したもので、供与額は950,522,550ルピアです。供与式典には、日本の大学で修士号・博士号を取得したエミル・トゥルンガレック県知事も出席され、「日本政府により供与された教室がムハマディヤ・サラムレジョ小学校生徒に意欲や希望を与え、将来日本に留学、両国友好のシンボルになることを期待している」旨述べ、加藤総領事は「生徒の皆さんが日本国民の気持ちをしっかりと受けとめ、長期にわたり施設の維持管理を行っていただくことをお願いしたい。将来はエミル県知事のように是非日本へ進学していただきたい」と挨拶しました。また、同式典では、生徒による「心の友」の披露も行われ、暖かい雰囲気で行われました。



テープカットの様子
(左：エミル県知事、右：加藤総領事)



生徒による「心の友」披露



供与式典に出席した保護者及び近隣の住民



生徒による歓迎の様子

☆第7回東カリマンタン日本文化祭

11月26－27日、当館は東カリマンタン日本語教師会と共催で、同州バリクパパン市内のパトラダルマ高校で「第7回東カリマンタン日本文化祭」を行いました。同文化祭は、東カリマンタン州で日本文化に関する理解を深めること及び中・高校の日本語学習者のモチベーション向上を目的として2009年から行っているもので、今年で第7回目を迎え、昨年、JENESYS2015 プログラムで訪日した1名の高校生も参加しました。文化祭では日本語弁論大会、ひらがな・かたかな早読み大会などのコンテストの他、総領事館員による国費留学セミナーや映画上映会など様々なイベントが開催され、生徒たちは日頃の日本語や日本文化の学習成果を発揮しようと懸命に取り組みました。27日閉会式には、当館から加藤総領事が出席し、6000名以上いるとされる東カリマンタンの日本語学習者を激励しました。



総領事館、東カリマンタン州日本語教師会
メンバー及びコンテスト入賞者
(前列中央：加藤総領事)



東カリマンタン元日本留学生メンバー
(左から2番目：加藤総領事)